

6日 日曜

ルカ

10:17 さて、七十人が喜んで帰って来て、こう言った。「主よ。あなたの御名を使うと、悪霊どもでさえ、私たちに服従します。」

10:18 イエスは言われた。「わたしが見ていると、サタンが、いなずまのように天から落ちました。」

10:19 確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。

10:20 だがしかし、悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい。」

10:21 ちょうどこのとき、イエスは、聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ。あなたをほめたたえます。これらのことを、賢い者や知恵のある者には隠して、幼子たちに現わしてくださいました。そうです、父よ。これがみこころにかなったことでした。」

10:22 すべてのものが、わたしの父から、わたしに渡されています。それで、子がだれであるかは、父のほかには知る者がありません。また父がだれであるかは、子と、子が父を知らせようと心に定めた人たちのほかは、だれも知る者がありません。」

10:23 それからイエスは、弟子たちのほうに向いて、ひそかに言われた。「あなたがたの見ていることを見る目は幸いです。」

10:24 あなたがたに言いますが、多くの預言者や王たちがあなたがたの見ていることを見たいと願ったのに、見られなかったのです。



また、あなたがたの聞いていることを聞きたいと願ったのに、聞けなかったのです。」

福音の宣教はサタンの妨げに勝利しつつ進みますから、宣教する者たちはサタンに対する権威を持っています。しかしこれらは神様からのものであって、人間が初めから持っているものではありません。ですからサタンや悪霊に勝利したからといって自分の力のように「喜んで」ならないのです。

イエス様が言われるように、福音の奥義を知らせていただき、「これらのことを…現して」いただいたのは、この世の「賢い者や知恵のある者」ではなく、「幼子」のような者に対してであることを覚えましょう。

私たちは自分が知恵者だから救いにあずかったのではなく、また主のみわざを行っているのではないのです。ただ「幼子」のように素直であることは大切なことです。謙遜で素直な者でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

